

令和6年度 高山市小・中学校教育の方針と重点

教育の願い

郷土高山に根ざした心に残る教育を創造する

教育の方針

郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む

教育の
重点

挑戦し続けるたくましさの育成

**深い学びの
実感**
(授業 Power Up Project)

ワクワクするカリキュラム・マネジメント
まず挑戦 すぐに 修正・改善

行動

「なりたい自分」
の実現

振り返り

見通し

**安心できる
居場所**

(教育支援センター構想の推進)
△学びの多様化教室「にじ色」
令和6年度スタート

個と向き合う

部活動の地域移行

～地域との協働～

郷土教育

～地域社会への発信～

生き生きと働く学校づくり

～令和6年度学校事務の共同実施スタート～

今後の学校の在り方の検討（小中一貫教育・義務教育学校）

高山市教育大綱

- ・社会全体で協働し子どもを育む
- ・豊かな心、健やかな体、確かな学力をともに養い、生きる力を身につける

学校教育課 ☎0577(35)3154 教育研究所 ☎0577(53)2368

・いじめSOSダイヤル

☎0577-35-3500

・不登校相談 教育支援センター

☎0577-53-2300

・てあい塾

☎0577-53-3770

・セクハラパワハラ相談

☎0577-53-2368

4 貢の高い教育を
みんなに

●主体的・対話的で深い学びにより生きる力を育む教育の推進（深い学びの実感）

「高山市教育振興基本計画 基本施策1」

確かな学力の育成 深い学びの実感ができる授業を展開し、一人ひとりに確かな学力を育みます。
(授業 Power Up Project の推進)

英語教育	目的・場面・状況に応じたコミュニケーション能力を育成する指導を推進します。
道徳教育	多様な価値観に触れ、よりよい生き方について考えを深める指導を推進します。
健康教育	運動に親しませると共に、食育や眠育等の指導を充実させ、自己管理ができる指導を推進します。
特別活動	多様性を尊重し合いながら、よりよい生活を自分たちの手で築くことができる指導を推進します。

●すべての子どもに居場所をつくる教育の推進（安心できる居場所）

「高山市教育振興基本計画 基本施策2」

いじめの未然防止と早期対応 いじめ防止アドバイザーと連携し、「魅力ある学校・学級づくり」「いじめを許さない学校風土づくり」に学校教育全体で取り組みます。また、各校の良さを学び合うため、児童生徒の交流を進めます。

人権教育 共生社会を目指し、認識力、自己啓発力、行動力を育む指導や多様性を尊重する指導を推進します。
生徒指導 対話を重視し、課題予防的生徒指導を充実させ、問題行動（いじめ、暴力行為、SNSの悪用等）について、組織的に未然防止や早期発見・早期対応に努めます。

特別支援教育 本人や保護者との合意形成を図りながら、将来を見据えその子に適した教育支援を推進します。教職員の特別支援教育の理解やユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを推進します。

教育支援センター構想の推進 「高山市教育支援センター」（学校の指導支援・あい塾の運営・学びの多様化教室「にじ色」の運営の支援・市民や外部機関との連携 等）を中心に、スクール・カウンセラーや外部機関と連携を図り、児童生徒の居場所づくりと学びの保障に努めます。また、その子に適した指導支援の研究・研修を進めます。

●地域全体の協働による郷土教育の推進(部活動の地域移行)(地域との協働・地域社会への発信)

（「なりたい自分」の実現）「高山市教育振興基本計画 基本施策3」

地域社会に開かれた特色ある学校づくりの推進 学校運営協議会と連携し、学校・家庭・地域が一体となって特色ある教育を推進し児童生徒が自己有用感や貢献感を味わえる教育を推進します。

総合的な学習の時間 探究的な見方・考え方を働きさせた学習活動の充実を図り、問題解決能力や表現力を培います。また、学び得た内容を地域社会に発信できる学習へと高めます。

キャリア教育 社会的・職業的自立に向けて、「なりたい自分」の実現のための指導を推進します。
(「キャリアパスポート」の活用)

部活動の地域移行 休日に、子どもが生き生きと活動できるように地域や各部活動の特性を生かした地域移行を段階的に進めます。

●時代の変化に対応した教育環境の充実（生き生きと働く学校づくり）（学校事務の共同実施）

「高山市教育振興基本計画 基本施策4」

危機管理 子どもの命に関わる危機管理研修や公金管理、情報管理など職務に関わる服務規律研修を実施し、安全安心な学校づくりに努め、迅速かつ的確に組織的な対応ができるようにします。

教育環境の整備 業務改善プランを推進し、やりがいにつながる教職員の働き方改革及び教育のDXを推進します。

教員研修 研修主事が中心となり、教員が主体的に学ぶ研修を実施します。
(校内研修、研修主事研修、新わくわくチャレンジ研修、ワーキンググループ研修 等)

ICTの活用 ICT（一人一台端末や電子黒板、授業支援ソフト、小学校 NEW! Gifu ウェブラーニング 等）を活用し、学びを保障します。家庭でのタブレット活用の研究を進めます。

学校事務の共同実施 小・中学校の事務の円滑かつ適正な処理を確立するため、学校事務を共同で実施します。